

芸 術

科目名	単位数	学年	学科
音楽 I	2 単位	1年(選択)	農・普科

教科書	ON! 1 (音楽之友社)	副教材	歌のミュージックランド (教育芸術社) 新音楽ワークブック1年 (音楽教育社)
-----	---------------	-----	--

科目の目標	創造的な表現をしたり、芸術の良さや美しさを楽しく味わったりすることができるようにする。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・理解	②思考・判断・表現
1 学期	○ 青春を歌う ○ 季節を歌う ○ 日本の歌	<b>【表現】</b> ・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方をしている。  <b>【鑑賞】</b> ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。  ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	<b>【表現】</b> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わり合いについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。  <b>【鑑賞】</b> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わり合いについて考えるとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
2 学期	○言葉と音楽 ○季節を歌う ○ミュージカルと映画音楽		
3 学期	○世界の歌		

- ・学習内容にかかわらず、年間を通して授業への取り組みを重視しています。
- ・音楽の授業は豊かな表現力の向上を目指すと同時に、他を知ることの姿勢を学ぶ場でもあります。常に真摯な姿勢で学習に取り組んでください。

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
③	主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
定期考査	実施しない	
評価方法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能 (歌唱テスト) ②思考・判断・表現 (ノート・鑑賞力) ③主体的に学習に取り組む態度 (授業態度)	

